

アメリカ合衆国空軍

Fortify を利用して DevSecOps のアプリケーション
ライフサイクルにセキュリティを組み込むことで
軍の優位性を強化

アメリカ合衆国空軍とは

アメリカ合衆国空軍 (USAF: The United States Air Force 以下「米空軍」) は、アメリカ合衆国軍の航空サービス部門です。アメリカ合衆国 (以下「米国」) の6つの武官組織のうちの1つで、空軍と宇宙軍の両方を代表しています。

DevSecOps の導入によりスケールメ リット (規模の経済) を創出

米空軍の使命は、米国の平和と安全を維持し、防衛することです。この取り組みにおいて、テクノロジーは重要な役割を果たしています。ソフトウェアとサイバーセキュリティは、業務システムや兵器システムから、人工知能、サイバーセキュリティ、宇宙などの国防総省のミッションのあらゆる側面に浸透しています。国防総省は、ロシア、中国、北朝鮮などの国々がこの分野に多額の投資を行っていることを強く意識しています。国防総省の中でも最先端の組織である米空軍は、この分野で指導的役割の位

「Platform One における
Micro Focus とのコラボレーション
に満足しており、Fortify がサイ
バーセキュリティ状態にもたらす
価値を高く評価しています。」

Nicolas Chaillan 氏
最高ソフトウェア責任者
米空軍

置にあります。アプリケーションを迅速に安全に提供することで、米空軍は軍の優位性を強化することができます。

米空軍の最高ソフトウェア責任者である Nicolas Chaillan 氏は、次のように説明しています。「単なる DevOps のプロセスだけでなく、DevSecOps プラットフォームを一元的に構築・維持することで、国防総省の各部署が独自のスタックを一から構築することを回避できることが分かったのです。セキュリティ、自動化されたツール、サービス、規格を一元的に提供することで、各部署がアプリケーションを安全で柔軟に相互運用可能な方法で開発、保護、導入、運用できるようになれば、アプリケーションを数か月ではなく数日で立ち上げることができ、コストと時間を大幅に削減することができます。ソフトウェアファクトリーのコンセプトは、業界のベストプラクティスを DevSecOps ツールおよびサービスの一元的な集合体と組み合わせるというものです。これにより、ラピッドプロトタイピング、リアルタイムの導入、そしてこれまでにないスケラビリティが実現します。」

Fortify により統合された アプリケーションコードのスキャン

このアイデアが米空軍の優秀な人材を結集した Platform One という形になりました。Platform One では、ユーザーが DevSecOps プラットフォームを導入することで、開発サイクルの短縮、ランタイムセキュリティの組み込み、ミッションソフトウェアへの



概要

業界

政府 / 行政機関

所在地

米国バージニア州

課題

開発チームは、被攻撃対象を減らしながら、最高のアプリケーションで国防総省のミッションをサポートすることに集中する

製品とサービス

Micro Focus Fortify

成功ポイント

- アプリケーション提供の高速化による時間とコストの削減
- 統合されたアプリケーションセキュリティスキャンによる高品質なアプリケーションの提供
- 継続的なコード監視とスキャンによる被攻撃範囲の削減
- ゼロトラストを活用したラテラルムーブメントの防止

「Micro Focus は、Iron Bank にとって優れた拡張オプションと言えます。Micro Focus Fortify により、セキュリティスキャンを開発サイクルに直接組み込み、あらゆる問題を早期に発見して開発テストサイクルの一環として修正することができます。」

Nicolas Chaillan 氏
最高ソフトウェア責任者
米国防空軍

お問い合わせ先: [CyberRes.com](https://www.cyberres.com)
この記事はいかがでしたか?
シェアはこちら



集中が可能になります。万能の CI/CD はありません。強固なコンテナ技術により複数の DevSecOps パイプライン構造をさまざまなオプションで使うことによって、ベンダーロックインを回避して真のスケラビリティを実現することができます。モジュール型アプローチによって、安全な Kubernetes プラットフォームでマイクロサービスをホスティングします。柔軟な構造により、開発チームは、アプリケーションのリリース準備が整ったかどうかを判断する基準を正確に定義することができます。

Platform One は、国防総省の Enterprise DevSecOps イニシアチブに完全に準拠しており、データベース、開発ツール、CI/CD ツール、サイバーセキュリティツールなど、900 以上のセントラルエンタープライズコンテナが含まれています。自動化されたテストとセキュリティが組み込まれたセントラルインフラストラクチャにより、開発チームはラピッドプロトタイプと継続的な改善のためのユーザーフィードバックプロセスを使用して、ミッションアプリケーションの構築に集中することができます。認証および強化されたコンテナからなる国防総省のセントラルコンテナリポジトリである Iron Bank は、最新のソフトウェア開発に必要なエンドツーエンドのライフサイクルをサポートします。

Chaillan 氏は次のように述べています。「アーキテクチャの構築にあたっては、私たちのビジョンを実現できる機能を探しました。この設計図の基盤がオープンソース技術に基づいていることを誇りに思っていますが、ベストプラクティスを持つ商用オフザシェルフ (COTS: Commercial Off-The-Shelf) ソリューションを提供する企業と提携したいとも考えていました。DevSecOps の将来性を実現し、

アプリケーションの開発と導入にサイバーセキュリティを組み込むために、Iron Bank の成功においては選択肢の豊富さが最も重要な要素なのです。Micro Focus は、Iron Bank にとって優れた拡張オプションと言えます。Micro Focus Fortify により、セキュリティスキャンを開発サイクルに直接組み込み、あらゆる問題を早期に発見して開発テストサイクルの一環として修正することができます。」

より安全なアプリケーションをさらに迅速に提供

インフラストラクチャにセキュリティが自動的に導入されるため、チームは新しいアプリケーションをより迅速に認定して、米国防総省全体のサイバー攻撃レベルを低減することができます。Platform One は、組織全体の開発状況を可視化し、エンタープライズ環境、クラウド環境、機密環境におけるアプリケーションのポータビリティを確保します。現在、国防総省では、数十のチームがアプリケーション開発ライフサイクルの一環として Platform One を活用しています。チームの迅速な立ち上げをサポートする自己学習機能によって、開始が遅れることはありません。

Chaillan 氏は次のように締めくくります。「Platform One のおかげで、国防総省の開発チームは、優位性を維持するために必要な新しいソフトウェアのリリースを 1 日に数回提供することができます。Platform One は高速で安全性と拡張性に優れています。DevSecOps プロセスと共に導入した基盤によって、アプリケーションの出力は自動的に承認されます。Platform One における Micro Focus とのコラボレーションに満足しており、Fortify がサイバーセキュリティ状態にもたらす価値を高く評価しています。」

マイクロフォーカスエンタープライズ株式会社
jp-info-enterprise@microfocus.com
www.microfocus-enterprise.co.jp